

図書館だより



京都市立九条中学校

図書館

令和7年度 第5号

NEW

新しくなりました！ 学級文庫

教室のすみっこにある「学級文庫」。みなさんは、どれくらい使っていますか？1学期との変化に気づきましたか？

本校は今まで学校司書が選書した学級文庫だったのですが、2学期より900番台の**文学や絵本**については、**すべて教養委員さんにお任せすることにした**。『クラスの人の顔を思い浮かべながら選んでね』という言葉を受けて、本をさがしてくれました。ほかの分類の本も刷新し、文学だけに偏らないようにバランスを取っています。



学級文庫に入れる本を選ぶ教養委員さん

迷いながらも、熱心で楽しそうでした。

本は、ただ読むだけではなく、心を育てる道具でもあります。朝読書の時間に静かにページをめくると、気持ちが落ち着いたり新しい考えがひらめいたりすることもありますよね。

でも、本はみんなのもの。だからこそ、大切に扱うことがとても大切です。ページを折ったり、書き込みをしたりせず、読んだら元の場所にきちんと返しましょう。全冊そろっていることで、次に読む人も気持ちよく使えます。

学級文庫は、みんなで育てていく「小さな図書館」。本を通して、友だちと感想を話し合ったり、新しい世界を知ったりすることができます。これからの朝読書、ちょっとだけいつもと違う本を手にとってみましょう。



教養委員長さん
曰く、『各クラスの個性が出ていておもしろいですね』

『このクラスの選書は、なんか【熱い】！』





『選書会』で選ばれた本が仲間入り！



付や案内をする様子をご覧になっておられた書店さんからは『すごくしっかりとやってくれますね!』とお褒めの言葉も頂戴しました。

暑さの厳しい日でしたが、開始時間の前から入口付近に並んで待ってくれる人がたくさん! 1学期末の懇談期間中にもかかわらず、83名の人に参加してくれました。個人の参加に加えて、部活動ごとにグループで本を選ぶ姿もありました。また、教養委員さんが受



残念ながら町の書店さんもだんだんと減り、紙の本を買い求める機会も少なくなってきています。けれども、活字から学ぶこと、感じること、考えること、すべて大切な事柄。柔軟で高い感受性と可能性に満ちた中学生にとってはなおのこと、活字は欠かせない存在です。



入荷した本は図書館の入口付近に排架してあります。あなたの選んだ本があるかもしれません。ぜひ、探して手に取ってみてください。

購入希望 第1位の本 (同率で2作品)

★『余命一年と宣告された僕が、余命半年の君と出会った話』 森田葵著 ポプラ社

★小説『ブルーロック EPISODE 凧2』
もえぎ桃著 講談社

いずれも購入しました 😊

すでに多くの本を貸し出しています。次の人のためにも、早めに返却してくださいね。

